

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論	岩崎沙織	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
カラーコーディネートやUC（色のユニバーサルデザイン）など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
<b>【講義概要】</b>			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割・色彩基礎		
3	課題制作①		
4	色彩基礎		
5	色彩基礎		
6	色彩心理		
7	課題制作②		
8	色彩調和		
9	課題制作③		
10	作品制作①		
11	作品制作①		
12	UC（色のユニバーサルデザイン）		
13	UC（色のユニバーサルデザイン）		
14	作品制作②		
15	作品制作②		
16	作品発表		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1983年生まれ。お茶の水女子大学生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサルタントとして独立。パーソナルカラー診断やカラー講座、ブランディング提案を行う。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。著書に『「好き」と「似合う」がかなう色の組み合わせBOOK』（池田書店）			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインプロセス	松蔭浩之	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
一年次のPC実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレイト」を使用したCDジャケット制作に取り組む。			
【講義概要】			
「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 課題提示		
2	イラレ1		
3	イラレ2		
4	イラレ3		
5	イラレ4		
6	フォトショ1		
7	フォトショ2		
8	フォトショ3		
9	デジカメ講座		
10	CDジャケット(ガイダンス)		
11	CDジャケット(ディレクション)		
12	フォトシューティングA		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と撮影	藤谷勝志	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
デジタル一眼レフカメラをオート撮影だけでなく、マニュアル撮影でも使えるようにします。JPEGとTIFFの違い、RAWデータについて理解してもらいます。聞き慣れない言葉が多いかと思いますが、最後は写真の面白さを知り、写真好きにします。			
【講義概要】			
カメラの種類、カメラの基本的構造、レンズの種類、特性を知ってもらいその使い方を理解していただきます。iPhoneはなぜ押すだけで写真が撮れるのか、オート撮影とマニュアル撮影の違い、そして使い方をカメラを手にして教えます。カメラ操作が理解できたら写真を撮る上で最も大切な「光」について説明します。実際に外での撮影と代々木にある僕のスタジオで撮影実習を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	カメラの種類、構造、使い方の説明		
3	ヒカリについての講義		
4	スタジオ実習		
5	スタジオ実習		
6	スタジオ実習		
7	スタジオ実習		
8	スタジオ実習		
9	スタジオ実習		
10	スタジオ実習		
11	スタジオ実習		
12	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年、秋田県生まれ。東京工芸大学写真技術科中退。写真家細谷秀樹氏に師事後、(有)藤谷勝志写真事務所設立。ファッション、ビューティー、ポートレート撮影を主に雑誌、広告写真を中心に活動。2004年渋谷区千駄ヶ谷に「studio flower」設立。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	商品企画・デザイン	株式会社サンシャイン エンタプライズ	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・発想力を養う</li><li>・マーケティングの基礎や商品製作のプロセスを知る</li><li>・商品を販売するにあたっての原価・売価</li><li>・利益などのお金の流れを理解する</li></ul>			
<b>【講義概要】</b>			
池袋・サンシャインシティ内にあるアミューズメント施設、「サンシャイン水族館」の商品開発を通してアイデア出しやデザインだけでなく、販売に至るまでの必要なプロセスを学びます。主にグループワークを中心として、実際に店舗や水族館を見学しながら、最終的に商品企画をグループ毎にプレゼンテーションします。アイデア力や実現可能性次第では、実際に水族館店舗での販売も検討します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業		
3	授業/グループワーク		
4	課外授業		
5	授業/グループワーク		
6	授業/グループワーク		
7	プレゼンテーション・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	池袋ブランディング	田中北斗	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
グループワークで体験したフィールドワーク、リサーチ、企画、考え方を活かし、デザイン〜モックアップに起こすことでよりリアルなクライアントワークを意識した作品制作を目指します。			
【講義概要】			
サンシャイン水族館の商品企画課題を引き継ぎながら、今回は個人ワークとなります。 グループワークで企画した商品を元に、個人個人が考える商品をデザインに起こし、モックアップ制作まで行います。商品及び商品を入れるパッケージまでを制作。各自の作品撮影も行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	アイデアチェック		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	進捗プレゼンテーション		
6	ブラッシュアップ確認		
7	制作及び撮影		
8	制作及び撮影		
9	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	豊島区広報A	黒川芳信	2単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	カメラワーク1		
3	カメラワーク2		
4	カメラワーク3		
5	カメラワーク4		
6	企画オリエンテーション		
7	ロケーションハンティング		
8	企画制作1		
9	企画制作2		
10	企画書・絵コンテ作成		
11	企画書・絵コンテ作成		
12	企画書・絵コンテ作成		
13	学内プレゼンテーション		
14	クライアントプレゼンテーション		
15	企画修正		
16	撮影準備		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1954年千葉県生まれ。1977年創形美術学校造形科卒業。1979年『身体気象研究所』の設立に参加。1981年より映像作家として活動。実験映画、ビデオアート、映像パフォーマンスを手がける。1981年シドニービエンナーレ出品。2000年ロッテルダム映画祭出品。著書に『バクリ学入門』（英治出版）がある。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン基礎A	高林直俊	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のペースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション (課題発表)		
2	アーティストライブ		
3	デザインの方向性と可能性の模索		
4	ラフアイデアチェック		
5	絞り込み案チェック		
6	絞り込み案 制作進行		
7	絞り込み案 制作進行		
8	課外授業		
9	制作集中日 & 個別相談		
10	制作集中日 & 個別相談		
11	制作集中日 & 個別相談		
12	プレゼンテーション		
13	フィードバック		
14	最終デザイン提出 & SNS展開力		
15	SNS展開力		
16	SNS展開力		
17	SNS用 作品提出		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラヒデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	タイポグラフィ基礎	木村文敏	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文字形状を見る目を養い、活字書体の知識を身に付け、組版や造形のセンスを磨きます。同時に課題を通して「読みやすさ」とは、「文字を組む」とは一体どういうことなのかを考えます。			
【講義概要】			
文字造形の基礎演習を経て、書体の歴史や変遷を学び、定番フォントの特徴や個性を探り、文字組みの基本とフォントの使い方を学習した後、オリジナルのフォントを制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	概要説明・錯視と視覚調整		
3	和文書体の基本		
4	和文書体・縦組みと横組み		
5	欧文書体の基本		
6	欧文書体・ラインシステムと文字のセット		
7	定番フォントのいろいろ		
8	文字を「組む」		
9	文字のサイズ、字間、行間		
10	フォントのデザイン		
11	デザインチェック1		
12	フォント作成のプロセス		
13	デザインチェック		
14	組版チェック・修正1		
15	組版チェック・修正3		
16	組版チェック・修正4		
17	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1964年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。株式会社写研を経て、有限会社字工房でヒラギノ明朝、ヒラギノ角ゴシックなどの書体制作に携わる。1998年よりフリー、文字デザインを中心に活動中。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBデザインA	秋山カズオ	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
WEBサイトを知識と実習で理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBサイトを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。			
【講義概要】			
WEBを利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新のWEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBのお話		
2	言葉で学ぶWEBの世界！		
3	社会はWEBで溢れている！		
4	WEBサイトデザイン制作・模写1		
5	WEBサイトデザイン制作・模写2		
6	WEBサイトデザイン制作1		
7	WEBサイトデザイン制作2		
8	WEBサイトデザイン制作3		
9	WEBサイトデザイン制作4		
10	WEBサイトデザイン制作5		
11	WEBサイトデザイン制作6		
12	WEBサイトデザイン制作7		
13	WEBサイトデザイン制作8		
14	WEBサイトデザイン制作9		
15	WEBサイトデザイン制作10		
16	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  秋山 カズオ：1970年香川県生まれ。株式会社DELUXE設立。クリエイティブディレクター。コミュニケーションディレクター。ブランディング、WEBプロモーション、パッケージ、CI/VI、広告制作。東京TDC正会員。日本BtoB広告賞金賞、日本パッケージデザイン大賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン基礎	奥定泰之	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、InDesignを自由に使いこなし、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、本の素材や構造、印刷方法なども身につける。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>InDesignというアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	InDesignとは何か		
3	書籍のデザイン1		
4	書籍のデザイン2		
5	書籍のデザイン3		
6	雑誌のデザイン1		
7	雑誌のデザイン2		
8	雑誌のデザイン3		
9	雑誌のデザイン4		
10	作品制作のミーティング		
11	作品制作		
12	作品制作		
13	作品制作		
14	作品制作		
15	作品制作		
16	作品制作		
17	仕上げ・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』（論創社）、『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオ	白川桃子	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>ポートフォリオ制作を通して、自身のクリエイティビティを発揮した上でブランディング構築をしたり、仕事に対する意識を高めたりと、将来のキャリア形成に役立てることを目標とします。ポートフォリオに完成はなく、日々アップデートしていくものです。いきなり100点は目指さず、まずは手を動かしてつくってみることからはじめましょう。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>「伝わるポートフォリオづくり」 就職活動時に必要なポートフォリオにおける、基本から実制作までステップを経て進めていきます。 基本では、そもそもポートフォリオをつくる目的や、自己分析、業界理解、制作プロセス・ポイントなどを学びます。実制作では個別のフィードバックを通して一緒に相談しながらポートフォリオをつくりあげ、自身の今後につなげていきましょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/ポートフォリオの「目的や役割」		
2	ポートフォリオの「構成とテーマ」		
3	ポートフォリオの「デザインとレイアウト」		
4	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
5	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
6	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
7	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
8	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 静岡大学教育学部卒業。2009年株式会社コンセント入社。企業の広告プロモーション、コミュニケーション支援などメディア問わず幅広くアートディレクション・デザインを手掛ける。編著に、企画編集・デザインを自身で行った『たのしく、イラストディレクション!』（株式会社ビー・エヌ・エヌ）がある。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 18時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。			
<b>【講義概要】</b>			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	講義、演習		
12	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告賞。2009年桑沢賞受賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン & セールスプロモーション	岩谷昇 藤本陽	1単位 27時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
パッケージデザインの授業では購入者ターゲットを明確に決め、ブランディングやターゲットに有効な訴求をすることが目的です。また、セールスプロモーションの授業では先にデザインしたパッケージ（商品）の特徴を魅力的にアピールし、購買意欲を喚起させるツールを制作するのが目的です。			
<b>【講義概要】</b>			
1.デザインする商品を決める。 2.ペルソナ（購入者ターゲット）を設定する。 3.売場を設定する。（学校外への視察も検討） 4.実際にデザインする。紙面上だけでなく、モック（ダミー）を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	パッケージ企画制作		
3	企画プレゼン		
4	パッケージ制作		
5	講評、個別指導		
6	セールス企画会議		
7	プロモーションツール制作		
8	プロモーションツール制作		
9	プレゼンテーション、講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	豊島区広報B	黒川芳信	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	カメラワーク1		
3	カメラワーク2		
4	カメラワーク3		
5	カメラワーク4		
6	企画オリエンテーション		
7	ロケーションハンティング		
8	企画制作1		
9	企画制作2		
10	企画書・絵コンテ作成		
11	企画書・絵コンテ作成		
12	企画書・絵コンテ作成		
13	学内プレゼンテーション		
14	クライアントプレゼンテーション		
15	講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1954年千葉県生まれ。1977年創形美術学校造形科卒業。1979年『身体気象研究所』の設立に参加。1981年より映像作家として活動。実験映画、ビデオアート、映像パフォーマンスを手がける。1981年シドニービエンナーレ出品。2000年ロッテルダム映画祭出品。著書に『バクリ学入門』（英治出版）がある。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	adobe検定	三浦英介	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
デザイナーが必須としているアドビ社のアプリケーションツール、イラストレーター、フォトショップの能力検定対策講座。PC操作と検定試験の過去問題を解説し傾向と対策を行う。サーティファイ検定試験(スタンダード)の合格率向上を目指すと共に、就職活動に向けた意識向上をはかる。			
<b>【講義概要】</b>			
試験内容の概要。アドビCCのログインと書体アクティベート設定。アプリケーションの基本操作とツール解説を行いながら、問題集「模擬問題-1」から「模擬問題-3」までの「実技・実践」のポイントを説明する。また就職に向けての最低限必要なデザイン・スキルを身につける。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	イラストレーター能力検定対策講座		
3	基本操作とツール解説		
4	フォトショップ能力検定対策講座		
5	基本操作とツール解説		
6	PC操作と検定試験の過去問題解説		
7	模擬問題-1解説		
8	模擬問題-1実技・実践		
9	模擬問題-2解説		
10	模擬問題-2実技・実践		
11	模擬問題-3解説		
12	模擬問題-3実技・実践		
13	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
14	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
15	就職対策講座		
16	総括		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1993年から映像制作会社にてキャリアをスタートする。デザイナーとしてクリエイティブ分野に携わったのち、フリーランスを経て、現在はアマテリアス代表。オーストラリアのゴールドコーストを中心に異文化教育の指導。アニメ制作会社タイフーン・グラフィックスの立ち上げから参加している。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBデザインB	中須賀美和子	1単位 33時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>WEBメディアを利用したコミュニケーションやプロモーションの基礎知識を理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>WEBを利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新のWEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBって何？1		
2	WEBって何？2		
3	サイト制作の裏側		
4	WEBプロモーション		
5	リスティング・リターゲティング・SEO		
6	WEBサイトデザイン制作・模写		
7	WEBプロモーション企画		
8	コーディング基礎		
9	WEBサイトデザイン制作1		
10	WEBサイトデザイン制作2		
11	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。ウェンディーズ・ファーストキッチン、L'OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kitty、キャラクター制作・監修にふなっしー、ガチャピン・ムック、うねたんなど。</p>			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザイン	守先 正	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
InDesignの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。			
<b>【講義概要】</b>			
四六判の本のカバーまわり（カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら）と本文（とびら、目次、本文、略歴、奥付）のデザイン一式を実習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	カバーデザインラフ案		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	本文デザイン		
13	制作		
14	制作		
15	カバーまわりデザイン試作チェック		
16	カバー・本文デザイン案		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1962年兵庫県生まれ。1986年筑波大学芸術専門学群卒業。1988年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。花王株式会社作成部、筑波大学芸術学系助手、鈴木成一デザイン室を経て、1996年有限会社モリスデザイン設立。主にブックデザインの仕事をを行う。2014年より多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科、2016年より同大学美術学部統合デザイン学科非常勤講師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン	近藤 忠	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
課題をとおり、広告表現の面白さと発想と技術を学ぶ。			
<b>【講義概要】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題①：コピーを考える（授業内完結）</li> <li>●課題②：ビジュアルにコピーを付ける（授業内完結）</li> <li>●課題③：公共広告を制作する（ラフ提出→講評→完成物提出→プレゼン→講評）</li> </ul>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題①制作		
3	制作		
4	課題①制作チェック		
5	制作		
6	課題②制作		
7	制作		
8	制作		
9	課題②制作チェック		
10	制作		
11	課題③制作		
12	制作		
13	制作		
14	課題③制作チェック		
15	制作		
16	制作		
17	プレゼン、講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1958年新潟市生まれ。武蔵野美術短大専攻科卒。1990年近藤忠デザイン事務所設立。和光大学芸術学科特任教授。毎日広告デザイン賞／公共広告の部・最高賞、毎日広告デザイン賞／広告主参加の部・最高賞、東京ADC賞、等受賞。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	因数分解とディレクション	片野慎太郎	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>課題を因数分解して、最大公約数を見出し、因数を言語化して、ディレクションを設定していくことを、課題を通して目指します。            課題をクリエイティブにより整理して、表現で人に伝えるまでの合理的なプロセスを経験します。            次第に自分のクリエイティブ能力を因数分解する視点も養い、デザイナーを職業にするための考え方も身につきます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>課題を因数分解してディレクションを設定するまでを、授業で取り組みます。            ・課題を因数分解する。・大事な因数に絞っていく。・因数を言語化して書き出す。            ・ディレクションを4事象で捉える。・表現を考える。・表現をかたちにする。            それぞれのパートに自分の能力の適性があるため、それも因数分解して全体的に俯瞰で捉える力を養います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題発表		
2	因数分解および言語化		
3	ディレクション設定①		
4	ディレクション設定②		
5	ディレクション設定③		
6	ディレクション設定④		
7	ディレクション発表		
8	個別指導		
9	個別指導		
10	個別指導		
11	各種アイテム制作		
12	各種アイテム制作		
13	各種アイテム制作		
14	各種アイテム制作		
15	講評会		
16	チェック・修正・モックアップ制作		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1996年慶應義塾大学SFC総合政策学部卒業。TVCMの企画/演出、デザイナーを経て、2001年独立。KANTAN株式会社代表取締役/クリエイティブディレクター。学校や企業、行政などの広告企画やブランディング、デザインディレクションを主に手掛ける。紙・Web・映像など幅広い制作が特長。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートディレクション	大石恵美子	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力 (得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する) ③物量を克服する持久力と執着心			
【講義概要】			
1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	テーマ発表		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	経過チェック		
8	制作		
9	制作		
10	経過チェック		
11	制作		
12	制作		
13	経過チェック		
14	制作		
15	制作		
16	最終チェック		
17	プレゼン・講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークADC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポスターデザイン	草谷隆文	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B1の大型ポスターを作る事により、文字のディティールを追求、研究する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディティールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	第一回案の発表 修正のアドバイス		
2	制作		
3	修正を持参、各自チェック、アドバイス		
4	制作		
5	制作までのプロセス決定		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作&アドバイス、以下出力へ		
17	授業開始までに作品完成。講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。 [入選/受賞歴] 1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ	上野仁志 田中北斗 岡山拓史	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。</p> <p>インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。</p> <p>就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）		
2	ポートフォリオチェック		
3	講義（面接・プレゼン）		
4	制作		
5	ポートフォリオチェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	2回目（講義：クリエイティブの就職について）		
10	制作		
11	ポートフォリオチェック		
12	制作		
13	制作		
14	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>上野 仁志：1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p> <p>田中北斗：1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）</p> <p>岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			